

影國事情(外交) 三百十八 二月三日(金)

一、バルチックに沿岸其ノ他露國ノ邊境地方ノ新邦ハ近々所謂邊境地方代  
表會議ヲ開クヘシ同會議ハ芬蘭ニ於テ開カラルヘシ同會議ニテハ主トシテ  
一、バルチックに沿岸諸國ニ對シ東西ヨリ來ルヘキ危險ニ對抗シテ自衛防  
守ノ問題議スラルベシ

一九〇〇年十二月三十一日

皇國事情(軍事) 三百十九 二月二日(金)

南露(ドイツ)軍ニ降リタル件ノ言ハ依レハ獨逸ヨリ多數ノ獨逸將

校(ボルン)ニ付キ政府ニ致意トシテ聽セラレ最近露國ニ來着シタリ

(ロシヤ十二月三十一日)

0424

露國事情（外交） 三百二十

二月三日（土）

「ラトヴィヤ」及「リスアニア」間ニハ同盟條約締結セラレタリ同條約ニ依レハ締盟國ハ獨逸軍カ「バルチツク」沿岸ヲ撤退スルト同時ニ獨逸ト財政及政治上ノ特別關係ヲ斷チテ獨逸ヲシテ「ラトヴィヤ」及「リスアニア」ノ内政ニ干渉スルヲ得サラシメ且又兩國ハ共同シテ「ボルシエ」ニ對抗シ聯合國ト協定ヲ保ツヘシト

（ロシヤ一二）

0425

露國事情（經濟） 三百二十一

二月三日（土）

・「ゼムストボ」

南露ニ於テ地方自治國會議ハ地方自治銀行設立問題ヲ議シテ之ヲ設立スル  
コトニ決セリ同銀行ノ資本ハ五〇〇〇〇〇〇〇留ニシテ之ヲ五百株ニ分テ  
各地方自治團體ハ之カ株ヲ引受テ同銀行ハ内外ニ支店ヲ設クハシ

（ロシヤ）（三）

露國事情 (軍事)

三百二十二

一月三日 (土)

南露「デニキン」軍ヨリ出テタル報道ニ依レハ南部戦線ノ「ホルン」ガ  
中「軍中」ニハ支那「ラツイン」ガ「エストン」ガ身利兵ノ多數加ハリ居レ  
ルヲ最近ニ至リ獨逸兵加ハリ來レリ現ニ最近「デニキン」軍ニ俘虜トナ  
リタル「部隊」ハ獨逸人ヨリ成リ居レリ支那兵ハ以前ノ如ク勞働者ヲ以テ  
編制シタルモノニアラスンテ特ニ西比利亞ニテ募集セラレテ編制セラレ  
タルモノトス

(ロシヤ二三)

0427

露國事情（外交） 三百二十三

一月四日（日）

南露ニ於テハ猶太人征伐ノ危険アルヲ以テ米國ハ猶太人保護ノ任ニ當ル  
コトニ決セリ米國ニ在ル猶太人代表者ハ國務卿「ランシング」ヲ訪問シ  
米國カ南露ニ於ケル猶太人保護手段ヲ詳スヘキヲ請要シ「ランシング」  
ハ之ニ對シ米國政府ハ本件ニ關シ有ラユル措置ニ出ツヘント答ヘタリ米國  
政府ハ南露ニ在ル米國代表者ニ訓令シ「デモキン」政府ニ警告セシムル  
コトヲデモキン「政府ハ猶太人征伐ヲ放任スル様ノコトアル場合ニハ米國  
政府ハ一切南露政府ヲ支持セサルヘントノコトヲ以テセシメタリ」（コロ  
シイ  
十二月三十一日）

0428

露國事情（政治） 三百二十四 一月四日（日）

露國「ボリス」<sup>エ</sup>「ウキキ」領袖株ノ素性出身別ハ左ノ如シ

一 貴族出身

レーニン

總理

ルナチヤリスキ

文部大臣

ボランチフレイウイツ

事務長官

クロンクイ女史

前社會救済大臣

クラシン

商工大臣

スリムチン

農務大臣

オボレンスキ

スタルク

メニジニスキ

「ボリセウイキ」政府  
前大蔵大臣

ビヤタノフ

二 ブルジュア出身

ルイコフ

ロモフ

ネウスキ

クレステンヌキ

メシチエリヤコフ

ツリユツバ

セラダ

フハーリン

ノギン

ラコウスキ(ルマニヤ人)

高等經濟會議長

同副議長

鐵道大臣

大藏大臣

ツラウダ新聞主幹

糧食大臣

農務大臣

學者

高等經濟會議議長

ウクライナボリセツイキ政府總理

0430



スミドワイツチ  
 ボクロスキヤ  
 グルイレンコ  
 ロヂエチス（ラツイイレ人）  
 カメネツ  
 ボウオイスキ  
 ラツイエツ  
 アシトツ  
 エレネツ  
 ドセルビルスキ（渡蘭人）  
 ベテルス  
 メドウエーダツ

前モスクワ勞兵會長  
 大學教授  
 ボリセツイキ前總軍司令官  
 ボリセツイキ前總軍司令官  
 總軍司令官  
 軍事會議員  
 同  
 南部戰線司令官  
 赤軍司令官  
 反革命防止委員長  
 反革命防止委員會員  
 同

Q431

ウエセロフスキー

同

トムスキー

實業聯合會選舉會長

スクーリン (グルジン人)

民族事務大臣

三 労働者出身

カリューン

全労兵會本部長

シリヤブニコフ

ボリセヴィキ政府労働大臣

五 猶太人出身

トロツキ

陸海軍大臣

ジノウイエフ

「ペトログラーフ」労兵會長

ラヂツク

外務省参事官

カールネワ

前「ペトログラーフ」労兵會長

ウリツキ

(死) (前「ペトログラーフ」  
過激派警視總監)

ウオロダルスキー

トウイノア

ヨマアエ

ラルシ

ハチクロフ

スウエルドロフ

(死)

在「コツベンハーゲン」ポルシエ

ツキキ代表者

在伯林キリヤウイキ大使

高等經濟會議員

イズウエスチヤ新聞(官報)主幹

前露勞兵會本部長(死)

(ゴロスロシヤ 十二月三十一日)

露國事情 (政治) 三百二十五 一月五日 (月)

奥國社會黨領袖「フリードリッヒ・アドルフェ」ハ同黨機關紙「デルク」カ  
ンブレニ「ドロッキート」ニ與アル書ニナル論文ヲ掲ケ「トロツキー」  
「レーニン」ニ派カ金銀ヲ以テ奥國社會黨員ヲ買收スルヲ攻撃シ「トロツ  
キー」ニ「レーニン」等ハ世界各國平民ノ利益ヲ害スル者ナリトセリ

(ロシヤ 一月四日)

0434

新聞が十年社員一ツアイドレル。救救の醫學界ノ人ツ介シ一放シ一ハ  
 ログラドシ市民ノ困窮狀頗殊ニ衛生狀頗カ如何ニ然カクモノナル  
 ア世界各國民ニ同ハタリ然レハ同市ニハ燃料缺乏ノ原因ノ温度ハ七  
 度以下ニシテ又科食品無キ為市民ハ平時自ラカカラサル物ヲ食シ餘ヲ  
 飲キツツアリ又燃料無キ為水電通ハサルヲ以テ市民ハ一ホリ河ノ思水  
 事ハ一ホリセツイキレノ使用ニ必要ナル線路ヲ毎日僅カク時間ヲ限リ往  
 復ス不寧ナル一ハトロクシトシ市民ハ在實困難苦痛ノ餘リ死ヲ待テテ  
 苦痛ヲ忘ルルモハ死スルノ外無シト覺悟シ最早外來ノ援助ヲ期待セム  
 シテ節々居レリト

一月四日

露國事情(軍事)

三百二十七

一月五日(月)

南露「トシ」軍總司令官「シードリ」將軍ノ聲明ニ依レハコレ迄南露  
戦争ノ「ボリシ」エツキ「軍ハ露人ノ將校ニテ指揮セラレタルモ其ノ後  
獨逸將校ハ之ニ代リ「ボルシ」エツキ「軍ヲ指揮スルコトナレリ同戰  
線ニ於テハ反「ボルシ」エツキ「軍力困難ノ状態ニ立ツニ至リタルハ之  
カ爲ナリト

(ロシヤ 一月四日)

0436

對國事情（外交） 三百二十八

月六日（火）

一、チリ及び日本、通信に依り、ハ、ア、ル、ス、及び、一、ジ、オ、ル、ジ、ヤ、の、兩、國、  
間、の、協、約、調、印、セ、タ、レ、タ、リ、同、協、約、に、依、り、ハ、兩、國、間、の、新、協、の、仲、裁、を、與、ヘ、附、  
シ、兩、國、民、の、兩、國、内、に、於、テ、自、由、に、通、商、貿、易、ヲ、行、フ、ヲ、得、

（三）ロ、ス、ロ、シ、ヤ、（三三六）

露國事情（外交）

三百二十九

一月六日（火）

「コソノ」ニ於テハ「ラトウイヤ」及「リスアムヤ」兩國代表者間ニ改  
守同盟條約締結セラレタリ同條約ニ依レハ兩國軍ハ一般司令官ノ指揮ノ  
下ニ立ツモノトス同條約ノ細則ハ目下「リガ」ニ於テ兩國代表者ニ定メ  
ラレツツアリ

（ゴロスロシイ 二五〇）

0438



露國事情（外交） 三百三十一

一月六日（火）

「ワルシヤ」は於テハ「ウクライナ」及波蘭兩國代表者ハ協商談判申  
ナリシカ今ヤ談判成立シタリ同協商ヲ以テ波蘭ハ「ウクライナ」ノ獨立  
ヲ承認シ「ウクライナ」ハ之ニ對シ東部「ガリシヤ」ヲ斷念スルコトト  
セリ

（ロシヤ 一月六日）

0439

「ウクライナ」人ハ其ノ地方的關係上「ガリシヤ」、「ウクライナ」人ト「ドネブル」河沿岸「ウクライナ」人トノニ分ルルカ最近此ノ兩者間ニハ「ウクライナ」ノ社會主義政治問題ニ關シ意見ノ相違ヲ來シ互ニ敵愾心ヲ抱キ其ノ結果、目下維納ニ在ル「ガリシヤ」、「ウクライナ」人ノ袖領タル「ペトルセーウイ」ツチノ提議ニ基キ「ガリシヤ」、「ウクライナ」人ハ在外「ウクライナ」代表者機關ヲ脱シ巴里ニ在ル「パネイ」モ其ノ職ヲ辭シタリ右意見ノ衝突ハ「ペトリユーフ」カ波蘭ト協約シテ東部「ガリシヤ」ヲ波蘭ニ一任シテ之ヲ斷念スルニ至リタルコトモ一原因トス

（ロシヤ 一月六日）

露國事情（軍事） 三百三十三

一月七日（水）

伯林通信ニ依ルニ目下同地ニ在ル露西亞人ノ數ハ約十萬人ニシテ獨逸人ハ露西亞人ヲ好過ス「ペーブルセン」軍ノ將校及兵卒ハ殆ムト全部同地ニ在リ獨逸ニ在ル露西亞人ハ新ニ軍隊ヲ編制セムトス同軍ハ兵卒七萬將校四百人ヨリ成リ「ロマノフスキ」將軍ハ之カ司令官ナルハ也

（ロシヤ 一月六日）

0441

露國事情（社會） 三百三十五 一月七日（水）

「ペトログランド」市生活難ハ想像以上ニテ竟却スルニ見ル日用品ヲ所持スル者ハ之ヲ買リテ其ノ金ニテ食糧ヲ買ヒ以テ口ヲ糊セツツアル者之ヲ所持セサル者ハ餓死シツツアリ斯ル状態ナルヲ以テ同市ニ子供老人皆無ト稱スルモ過言ニテアツナルナリ殊ニ右食糧品ニ缺乏シ居ルヲ以テ之ヲ買フニモ容易クモトモアラス同市ノ物價ハ左ノ如シ

パン一斤 三百五十留

粟一斤 八十七留

バカ一斤 千八百留

馬肉一斤 五百留

鹽ニシテ一尾 八十留

人肉一斤 百留

0442

備考  
人肉ハ單ニ肉トシテ販賣セラルルモ其ノ實人肉ナルカ如

シ

蒸、煎、非、砂糖ノ如キハ全ク品切レナリ

(ロシヤ 十二月六日)

0443

辭國事情(外交) 三百三十一

一月八日(木)

「ロツ」バンハイゲンに電報ニ依レハ「ラトヴィヤ」政府ハ「エストニア」  
及露國「バルシエ」キ「兩政府」ノ「ドルバト」會議ニ加入セサリシ  
ニ同接ニ之ニ加入シ同政府社員ハ「ボルシエ」キ「政府代表者」ヨ  
「フェ」ニ平和條件ヲ提起シタリト聞フ

(ロツヤ 一月七日)

0444

帝國事情(經濟) 三百三十八 一月九日(金)

南露政府商工省統計に依りハ昨年八月中英國ヨリ南露ニ輸入シタル貨物ノ價格一、六〇〇、〇〇〇磅トス又最近南露ヨリ「オデス」港ヲ經テ「シムランチノーブル」ニ向ケ毛皮類輸出セラル

(ブリズイツ 十二月四日)

0445

露國事情(政治) 三百四十一 一月九日(金)

南露政府ノ願望

長、 子ニキーン將軍

次、 ルコムズキーン將軍

内、 子エリヤフ

大、 バルト・スキーン教授

商、 子ベチヤフ

外、 子ソ・イ・フ

糧、 子スロフ將軍

宗、 子ルバツコイ公

農、 子リモローウイチ教授

プロバガンダ 子ニコロフ教授



交 通 部  
無 限 大 臣

(ツリスイウ一月二日)

アストロフ  
フエオドロフ  
ユルチメン

0447

露國事情（政治）

三百四十四

一月十一日（日）

南露政府のデニキン軍の司令部ハ最初「エカテリノダール」ニ在リシ  
全同軍ノ進軍ト共ニ「タカンローク」ニ移リタル次第ナルカ今同軍カ  
「エカテリノダール」右司令部ハ「エカテリノダール」ニ引移リタリ

（ロシア一月十一日）

0448

露國事情（政治）

三百四十五

一月十一日（日）

「ウクライナ」政府ハ「ベトリユトラ」軍ノ失敗ニ伴レ「キエフ」ヲ撤  
退シタルカ同政府ハ總理「マセパ」ヲ首領トシ目下「カザチン」ニ在リ  
同政府ハ攻勢ヲ始ムルノ目的ニテ軍隊ヲ編制シツツアリ

（モロスコシイ一月七日）

0449

露國事情（政治） 三百四十七

一月十二日（月）

ドイツ、チエ、アルゲマイネ、ツァイツング」ノ記事ニ依レハ露國々民  
派タル保守黨分子ハ「デニヤン」政府内、立憲民主黨乃至社會黨アルヲ  
好マスシテ同政府ヲ倒シ國民黨員ヲ以テ政府ヲ組織スルノ希望ヲ有セリ  
現ニ「デニヤン」ハ此ノ間英國新聞「デイリークロニクル」新聞記者ニ  
向ヒ若シ予ヲ殺ス者アリトセハ其ノ犯人ハ右黨ノ人ナルヘシト語レリ

（ゴロスロシイ一月七日）

0450

海國事情 (軍事) 三百四十八 一月十二日 (月)

「ボルシエ」軍ハ「ブハラ」ヲ占領シタリ  
同軍ハ「バクト」ヲ占領スル計畫ナリト聞フ又「ボルシエ」軍ハ高加索及後裏海ニ勝利ヲ得タルヲ以テ同地方ヨリ波斯及阿富汗斯坦ヲ經テ容易ニ印度ニ革命ヲ煽動スルヲ得ヘシ

(ロシア一月十一日)

0451

露國事情（軍事） 三百四十八

一月十二日（月）

「ポルシ」<sup>ユ</sup>「ツ」<sup>キ</sup>軍ハ「ブハラ」ヲ占領シタリ向軍ハ「バクト」ヲ占領スル計畫ナリト聞フ又「ポルシ」<sup>ユ</sup>「ツ」<sup>キ</sup>軍ハ高加索及後裏海ニ勝利ヲ得タルヲ以テ同地方ヨリ波斯及阿富汗斯坦ヲ經テ容易ニ印度ニ革命ヲ煽動スルヲ得ヘシ

（ロシア一月十一日）

0452

露國事情（政治） 三百四十九 一月十二日（月）

波蘭政府ハ邊國「ボルシ<sup>エ</sup>「<sup>フ</sup>キ」政府ニ對抗スル目的ヲ以テ露國邊境  
諸村立國代表者會議召集ノ提議ヲナスヘシ一月下旬「ラトヴィヤ」「エ  
ストニア」「リスニア」「芬蘭」「ウクライナ」「並高加索地方諸獨立國代  
表者ハ「ソルシヤ」「ニースルヘシ同會議ニハ羅馬尼亞加入スヘシ

（ロシヤ一月十一日）

0453

露國事情（政治） 三百四十九 一月十二日（月）

波蘭政府ハ露國「ゴルシ」<sup>エ</sup>「ツ」<sup>キ</sup>政府ニ對抗スル目的ヲ以テ露國邊境  
諸獨立國代表者會議召集ノ提議ヲナスヘシ一月下旬「ラトヴィヤ」「エ  
ストニア」「リスマニア」「芬蘭」「ウクライナ」並高加索地方諸獨立國代  
表者ハ「ワルシヤ」ニ集ルヘシ同會議ニハ羅馬尼亞加入スヘシ

（ロシヤ一月十一日）

0454



露國事情（政治） 三百五十一 一月十三日（庚）

「エカテリノダール」電報ニ依レハ南露政府ノ改道行ハレ新政府員ハ左ノ如シ

總理 ルコムスキー將軍

陸海 ウヤズミテニコフ將軍

大藏 ベルテツキイ教授

糧食 サウイツテ

内務 トルベツコイハム

交通 テフメノフ

商工 ツーニン

（二月十三日ロシヤ）

露國事情 (軍事)

三百五十一

一月十三日 (火)

「ボルシエツキ」軍ヨリ追ハレ「ドネイブル」河ヲ渡リテ搦却シタル  
反「ボルシエツキ」軍隊ニ屬スル兵士ノ饑ニ依レハ「デニキン」軍敗  
戦ノ原因ハ背面ニ於テ農民カ政府ニ反對シ又「ベトリユーラ」軍ニ屬ス  
ル者カ同政府ニ反對シタルカ爲ナリ「デニキン」政府ハ「ボルシエツキ  
キ」軍ニ對抗シテ戦線ニノミ注意ヲ拂ヒ背後ニ注意ヲ怠リテ糧食ノ不足  
陸軍經理部官吏カ不正ニ出ツルコト等ヲ等閑ニ附シタルハ敗戦ノ原因ナ  
リト

(ロシヤニヨ)

一月六日「ボルシ」<sup>エ</sup>「ヴ」<sup>キ</sup>軍ハ「タカシロ」<sup>グ</sup>ヲ占領セリ之カ爲南  
 露「デニキン」政府ハ「ユカテリ」ノ「ダール」ニ移レリ羅馬尼軍ハ「ボル  
 シ」<sup>エ</sup>「ヴ」<sup>キ</sup>軍ノ「オデツサ」ニ侵入スルコトヲ妨害シテ同市ヲ防禦ス  
 ル爲「オデツサ」ヘ向ケ出發セリ「オデツサ」沖ニハ聯合國軍艦六隻ア  
 ルヲ以テ同軍艦ハ「オデツサ」市民ヲ保護スヘシ羅馬尼軍ハ「ウクライ  
 ナ」軍ヲ援助シ「ボルシ」<sup>エ</sup>「ヴ」<sup>キ</sup>軍ノ「ベツサラピヤ」侵入ヲ防止ス  
 ルノ任ニ當レリ波蘭軍ハ「ペトリユ」<sup>ラ</sup>軍ヲ援助シ「ボルシ」<sup>エ</sup>「ヴ」<sup>キ</sup>  
 キニ軍ニ對抗スル爲進軍セリ

(ロシヤ三〇)

露國事情（政治） 三百五十五

一月十三日（火）

「キエフ」ハ「ボルシ」エ「ヴ」キ「軍」ノ占領ニ歸シタリ同地ニ於テハ露國  
「ボリシ」エ「ヴ」キ「政府」ノ援助ニ依リ「ウクライナ」共產黨政府組織セ  
ラレタリ

（ロシヤニ〇）

0458

北露ニ發セララル露國新聞北露（ノボロシ）ハ聯合國カ反（ニ）ボルシ（キ）  
ヅ（キ）政府ニ援助ヲ與ヘサル爲其ノ社説ヲ以テ英米佛聯合諸國ヲ排斥  
シ親日親露説ヲ主張シテ左ノ通り論シタリ

我カ聯合諸國ハ吾人ニ援助ヲ與フルヲ拒ムキ吾人ノ舊敵タル日本及獨逸  
ハ吾人ニ援助ヲ與ヘムトス吾人ハ獨逸ノ大ナル組織的事業及獨逸力速ニ  
法律秩序ヲ恢復スルノ能力ヲ有スルコトニ鑑ミ（コ）ボルシ（キ）  
スルノ實力ヲ有シテ而モ露國復興ニ援助ヲ與ヘ得ル者ハ獨リ獨逸アルベ  
シナルヲ信シテ疑ハサルナリ吾人ハ若シ聯合諸國カ吾人ヲ全然見棄テテ  
顧ミサル場合ニハ前記ノコトヲ記憶スルヲ要ス

（ブリズイウ二月六日）

露國事情(外交) 三百五十七

一月十四日(水)

倫敦ニ於テハ最近南露援助委員會組織セラレタリ同委員會ハ「ローパー  
ト、セシル」卿「ウォルト」大佐「ロツケルロムソン」ペエルス」將軍  
「ブリックス」將軍等英國名士ヨリ成リ「ロバート、セシル」卿ハ之カ  
會長トス同委員會ノ「プログラム」ハ未タ定マシヤルモ同委員會ハ政治  
經濟上ニ關スル事業ヲ目的トスヘシ同委員會ハ露國ノ諸國體ト接觸スヘ  
シ英國政府ハ委員會ヲ支持スヘシ

(ロシヤ一月十一日)

0460

露國事情（經濟） 三百五十九 一月十四日（水）

南露政府首長「デニキン」將軍ハ全露政府ノ名ヲ以テ在巴里「サザノフ」ニ訓令ヲ發シ全露政府ノ許可ヲ經スシテ露國ノ天産富源開發ニ關シ外國人ト締結シタル契約ハ一切無効ナルカ爲此ノ事ヲ聯合諸國政府ニ通告セラレタシト命セリ

（ロシヤ一月十三日）

0461

波蘭事情（外交）

三百六十一

一月十五日（木）

獨逸新聞「ターケム、ルンドシャツ」所報ニ依レハ獨逸ト波蘭トノ間ニ  
ハ經濟的協約締結セラレタリ同協約ニ依レハ獨逸ハ波蘭ニ一定ノ石炭、  
肥料、汽關車、車輛等ヲ提供スルノ義務ヲ有シ波蘭ハ之ニ對シ獨逸ニ等  
「スピルト」等其ノ他ノ糧食品ヲ提供スルノ義務ヲ有ス

（ロンドン）一月十四日

0462



露國事情（政治） 二百六十二

一月十五日（木）

「パツーム」電報ニ依レハ後裏海地方ニ「ダムビドジャンツイ」ト稱ス  
ル「カルムイク」王現ハレタリ同人ハ「コブド」王「アムルサン」ノ孫  
ナリト自稱ス同王ハ「ダムビドジャンツイ」ハ目下「ボルシ<sup>エ</sup>ヴ<sup>キ</sup>」  
ニ對抗シツツアリ

（ロシヤ一月十四日）

0463

露國事情 (政治)

三百六十三

一月十五日 (木)

「ボルネ」<sup>エ</sup>「グ」<sup>キ</sup> クワースイストーク 赤色の東方ナル名稱ノ下ニ一種ノ煽動隊ヲ組織シ中

央亞細亞住民煽動ノ爲特別列車ヲ仕立テ之ヲ莫斯科ヨリ「トルキスタン」

ヘ向ケ送ラムトス同隊ノ司令部員ハ主トシテ社會共產黨員タル「キルギ

ス」ノ總軀人、「パスキル」人種ヨリ成リ有名ナル「パワパナ」女史ハ

之ヲ總指揮役ニナリ右特別列車ニハ煽動ニ關スル出版物、活動寫眞種板

ヲ搭載スヘシ煽動ハ主トシテ活動寫眞無線電信等ニテ行ハルヘシ

(ロシア一月十四日)

露國事情（政治）

三百六十五

一月十六日（金）

知名ノ「ボリシ」<sup>エ</sup>「ラデツク」<sup>キ</sup>（元嶼洪領波蘭猶太人ニシテ本  
名「ソーベルソン」）ハ出獄後柏林ニ在リタルカ今度露國ニ歸ルコトト  
ナリ波蘭政府ハ同人カ波蘭領ヲ通過シテ露國ニ向フコトヲ許可セリ（露  
「ボルシ」<sup>エ</sup>「ラデツク」<sup>キ</sup>政府ヨリ交渉ノ結果）露「ボルシ」<sup>エ</sup>「ラデツク」<sup>キ</sup>政府ハ  
之ニ對シ露國ニ抑留中ナル波蘭人就中僧正「ツオンロツプ」ヲ解放スル  
コトトセリ

（ブリズイウ一月九日）

0465

露國事情（政治） 三百六十七

一月十六日（金）

巴里ニ在ル露國施設

一 露國大使館

マクラコフ（大使）

二 露國總領事館

アイトフ（總領事）

三 露國寺院

スミルノフ僧

四 聯合國軍附露國總軍司令官代表者本部 シチルバートフ將軍

(一) 參謀部

シチルバートフ大佐

(二) 經理部

ナルアトフ大佐

(三) 物資供給部

ケルモニス將軍

五 露國大使館附陸軍武官

イダナチエフ少將

六 露大使館附海軍武官

ドミトリエフ大佐

七 巴里總督附露國將校本部

ソニコロフ大佐

0466

八、露國財務官

ラハローウィツチ

九、露國經濟會議

十、露國電報通信社（ユニオン）

十一、中學生卒業檢定試驗委員會

十二、露國市會及地方會聯合本部代表者事務所

十三、露西亞軍ユヂニチ將軍代表者事務所  
トロツキョーセヌトツイツチ

十四、露國商船會社事務所  
ホメンコ將軍

十五、露國赤十字社代表者事務所  
ゴルーベフ

十六、南露政府商工事務代表者  
サウイツキー

十七、*Societe Francaise - Reunis de ports de commerce*

十八、露國商業會議所

十九、露佛商業會議所

0467

三十一 三十一  
三十二 三十二  
三十三 三十三  
三十四 三十四  
三十五 三十五  
三十六 三十六  
三十七 三十七  
三十八 三十八  
三十九 三十九  
四十 四十

露國事情（外交）

三百六十八

一月十七日（土）

佛國大學生同盟大會ハ此ノ間巴里市内ニ檄文ヲ配布シタルカ同檄文中ニ  
ハ露西亞問題ニ關シ左ノ問答アリ

露國ハ佛國ニ對シ變節シタルヤ否ヤ曰ク變節シタルコトナシ。露國ハ  
國ヲ援助シタルヤ否ヤ曰ク援助シタリ露國ハ亡ヒタルヤ否ヤ曰ク亡ヒス  
露國ト將來同盟スル國ハ世界ヲ領スルヲ得ヘント

（ロシヤ一月十六日）

0469

露國事情（政治）

三百六十九

一月十七日（土）

「ウクライナ」「ボルシエ」政府總理「ラコウスキー」ハ既ニ昨  
年夏「キエフ」ニ社會共產主義煽動本部ヲ有シ同本部ハ佛蘭西、羅馬尼、  
波蘭、「チエツク」スロヴァキア、南部「ストラツ」獨逸、勃牙利ノ七部  
ニ分レタリ現「ウクライナ」「ボルシエ」政府ハ右煽動本部ヲ支  
持シ「ラコウスキー」ハ自ラ煽動ノ任務ニ從事シツツアリ

備考 「ラコウスキー」ハ羅馬尼出身ノ猶太人ナリ

（ロシヤ一月十六日）

0470



官廳事務大車庫 三月十七日 三月十八日 (日)

一、バスターミナル新開一カ所のクオアイム所留ニ依リハ高熱症ニ在ル英蘭軍

司令官ハ司令部下ノ地方病院ノ懇請ニ依リ英蘭軍ハ撥退セズンテ一バツ

一、ムニシ機電スハント聲明セリ

三月十七日 三月十九日

0471

露國事情（政治）

三百七十三

一月十八日（日）

黒海ニ本據ヲ有スル露國運輸會社ハ猶太人ヲ南露ヨリ「パレスチナ」ニ  
輸送スルノ目的ヲ以テ「オデッサ」  
「パレスチナ」間ニ定期航海ヲ開ケ  
リ最近南露ヨリ「パレスチナ」ニ向テ猶太人ノ數頗ル多シ英國領事館ハ  
右猶太人ノ旅行券ニ査證ヲ與テ

（ブリクスイウ一月九日）

0472